

気仙沼市へ

定期全国大会決定事項に基づく申し入れ

2 月 25 日、気仙沼市に申し入れを実施し、菅原茂気仙沼市長にご対応いただいた。菊川初枝全国海友婦人会気仙沼支部長が申し入れに同行し、奈良章気仙沼支部長から菅原市長に申し入れ文書を手交、趣旨を説明した。

申し入れに対し気仙沼市は①個人住民税は、日常生活に欠かすことのできないサービスの費用を、地域社会の会費として広く市民の方に負担していただく性質のものであり、一定以上の所得のある市民の方に、所得に応じて納税していただいている。一部の自治体での減免事例は承知しているが、住民税の負担は公平性の担保が大原則で、今後も国や他の自治体の動向を注視していく。

②海に親しむ活動の推進については、水産業への関心を深めてもらうため「小中学校海洋教育助成事業」として、市魚市場見学などで、小学生へバス代などの費用を助成した。また「小学生を対象としたマグロ漁業に関する総合学習」として、遠洋マグロはえ縄漁船の見学や、マグロに関する講演会を実施した。

③プラスチックゴミの海洋流出防止について、市は令和元年に「海洋プラスチックゴミ対策アクションプラン」を策定以降、昨年度は「気仙沼市海洋プラスチックごみ対策シンポジウム」を開催した一などの説明があり、意見交換後、申し入れを終えた。

「海員だより」